

2013年12月19日

開館25周年記念

魅惑のニッポン木版画

25th Anniversary Exhibition of Yokohama Museum of Art
Fascinating Japanese Woodcut Prints

2014年3月1日(土) - 5月25日(日)

休館日：木曜日

開館時間：10:00～18:00 (入館は17:30まで)

横浜美術館

浮世絵から千代紙、現代アートまで —— 多様な木版芸術の世界

木版画は、日本人にとって最も親しみ深い芸術表現のひとつといえるでしょう。

江戸時代、浮世絵版画が一世を風靡し、木版画は「庶民の芸術」として定着しました。この時期には、人々の暮らしにより密着した千代紙や引き札などにも木版技法が用いられています。大正時代には、木版本来の力強い表現力を生かした「創作版画」や、浮世絵の繊細な線や鮮やかな色彩を受け継ぐ「新版画」が誕生しました。また、木版ならではの柔らかい風合いと近代的なデザイン感覚が融合した本の表紙や絵封筒なども、当時の人々の暮らしを彩っています。

伝統と革新の上に独自の発達をとげてきた日本の木版画は、戦後、国際的に大きな脚光を浴びることとなります。それに



ともなって国内でも木版画熱は再び高まりをみせ、現代にいたるまで、木版という伝統技法にこだわって制作を続けているアーティストが数多くみられます。

横浜美術館は幕末から現代までの約1,600点におよぶ木版画を所蔵しています。この展覧会では、当館の収蔵品を中心に、現代作家による新作も加えた約200点を通じて、各時代の木版表現の粋^{すい}をご紹介します。庶民性と独創性にあふれる「魅惑のニッポン木版画」の世界を、どうぞご堪能ください。

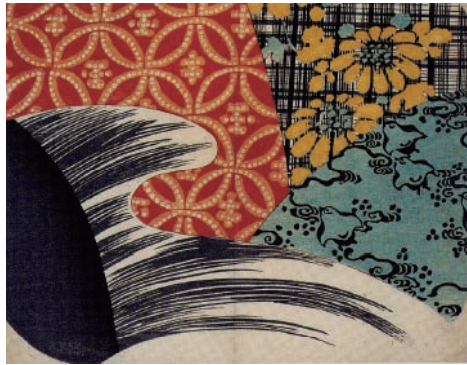
むなかたしろう はなかりしょう
棟方志功 《華狩頌》 1954年(昭和29) 木版 130.0×158.0cm 日本民藝館蔵

【第1章】幕末・明治 —生活を彩る木版画

幕末から明治にかけての様々な木版表現をご紹介します。

江戸の伝統を引き継ぐ浮世絵版画、そして洋風表現を取り入れた新しい木版画が流行したこの時期、木版は人々の生活の身近にありました。千代紙やうちわ、引き札、のし袋といった暮らしを彩る印刷物もまた、「庶民の芸術」たる木版表現の真骨頂といえるでしょう。

【出品作家：歌川国芳^{よしとし}、月岡芳年^{きよちか}、小林清親、千代紙やうちわ絵 ほか】

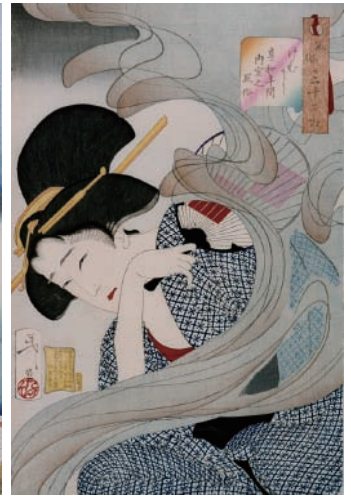


上左 作者不詳^{うちわえ}《団扇絵 裏絵》
制作年不詳 多色木版 23.2×29.9cm 横浜美術館蔵 (小島豊氏寄贈 [小島烏水旧蔵])

右 小林清親《東京新大橋雨中国》
1876年 (明治9) 多色木版 21.5×33.2cm 横浜美術館蔵 (加藤栄一氏寄贈)

下左 歌川豊国 (三代)^{ざよひ}《御意に叶ひ大入を 鳥尽 みやことり 猿島惣太》
1860年 (万延元) 多色木版 37.5×25.5cm 横浜美術館蔵 (飯島昌子氏寄贈)

右 月岡芳年 (大蘇)^{おんちこうしろう}《風俗三十二相 けむさう 享和年間 内室之風俗》
1888年 (明治21) 多色木版 37.4×25.2cm 横浜美術館蔵 (加藤栄一氏寄贈)



【第2章】大正から昭和 —木版画の復活

明治後期、石版印刷などの普及により一時は廃れた木版画ですが、この時代にはその表現力に着目する作家たちが現れました。

自画・自刻・自摺による芸術表現を目指した「創作版画」、来日した外国人浮世絵師たちの活動、そして版元・渡邊庄三郎による「新版画」。さらに竹久夢二や川上澄生は木版による雑誌の表紙や挿絵、便箋や千代紙などのデザインを積極的に手掛けました。

【出品作家：竹久夢二^{おんちこうしろう}、恩地孝四郎^{おんちこうしろう}、ヘレン・ハイド^{はすい}、川瀬巴水^{ごよう}、橋口五葉 ほか】

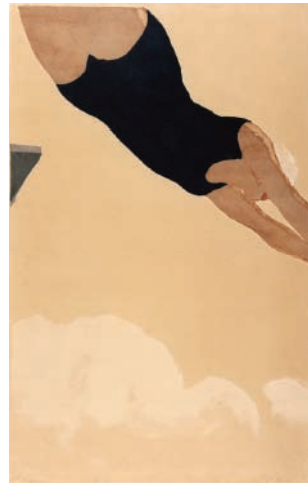
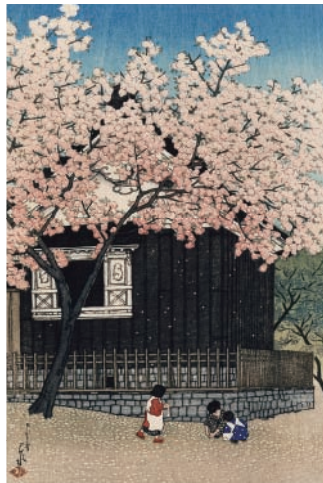
左から

橋口五葉《髪梳ける女》1920年 (大正9) 多色木版 44.0×32.6cm 横浜美術館蔵

川瀬巴水《「東京十二題」春のあたご山》1921年 (大正10) 多色木版 36.5×24.3cm 横浜美術館蔵

恩地孝四郎《ダイビング》1936年 (昭和11) 多色木版 47.0×29.2cm 横浜美術館蔵 (北岡文雄氏寄贈)

竹久夢二《千代紙 大椿 (みなとや版)》大正から昭和初期 多色木版 38.6×27.4cm 京都国立近代美術館 (川西英コレクション) 蔵



[第3章] 1950年代以降 —国際的な舞台へ



戦後、日本の木版画は国際的な舞台へと活動の場を広げていきます。1951年に斎藤清がサンパウロ・ビエンナーレで受賞したのを皮きりに、むなかたし こう棟方志功やほかだ吉田穂高らの独創的な版画が国際展で脚光を浴び、版画熱は急速な高まりをみせていきました。

【出品作家：棟方志功、斎藤清、吉田穂高 ほか】



あぜちうめたらう
上左) 畦地梅太郎 《山男》
1952年(昭和27) 多色木版 41.7×30.0cm
横浜美術館蔵(北岡文雄氏寄贈)

右) 斎藤清 《凝視》
1962年(昭和37) 多色木版 53.0×38.7cm
横浜美術館蔵(斎藤清氏寄贈)

下左) 吉田千鶴子 《谷間の蝶》
1979年(昭和54) 多色木版、ジンク凸版
63.1×85.8cm 横浜美術館蔵(吉田千鶴子氏寄贈)

右) 田嶋宏行 《大道芸人》
1981年(昭和56) 多色木版 57.8×45.5cm
横浜美術館蔵

[第4章] 現代 —新たな木版画の表現へ

2000年代以降のアーティストたちの作品をご紹介します。

コンテンポラリーアートの舞台でも木版画は健在です。今日的なテーマに向き合いながら、そしゃく伝統的な木版技法を咀嚼して新しい表現を实践するアーティストたちによって、ニッポンの木版画の歴史は日々更新されています。

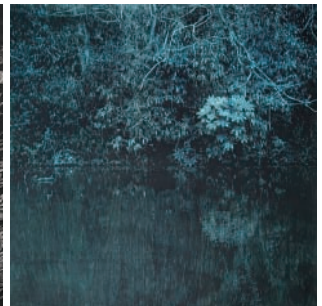
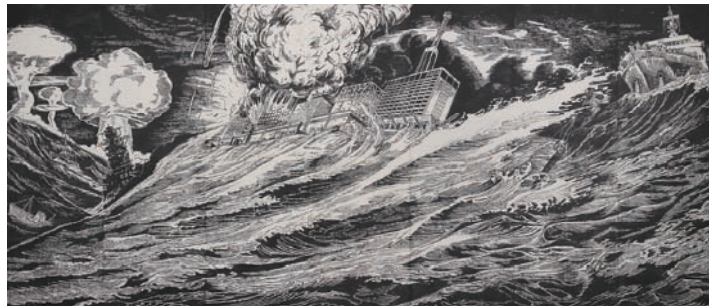
【出品作家：あよみ吉田亜世美、まりづきさき風間サチコ、ゆあさかつとし桐月沙樹、湯浅克俊】

上) 吉田亜世美《YEDOENSIS》(参考作品) 2008年(平成20) ヴァイナルウォールペーパーにデジタルプリント、雁皮紙、油性インク凸版 ※ノーザン・イリノイ大学美術館(シカゴ)での展示風景 Photo: Larry Gregory

下左) 桐月沙樹《ナミマノダンサー》 2011年(平成23) 多色木版 59×59cm 個人蔵

中) 風間サチコ《噫!怒涛の閉塞艦》 2012年(平成24) 木版 181×418cm 東京都現代美術館蔵 Courtesy of MUJIN-TO Production

右) 湯浅克俊《3:05 am》 2013年(平成25) 手彩色紙に油性木版 100×100cm 個人蔵



展示会の見どころ

1. 生活を彩る多彩な木版表現を紹介

鑑賞のためのいわゆる「芸術作品」としての木版画だけでなく、千代紙やのし袋など、人々の暮らしに密着しながら多種多様に発展した日本独自の幅広い木版表現をご紹介します。

2. 今日の新しい表現にも注目

様々な表現技術が発達した今日、木版画という技法を使って表現を追求している現代の作家たちにも注目します。

3. 木版技法を分かりやすく解説

彫刻刀や版木など道具や画材を展示し、パネルなどで木版画の技法や特徴を分かりやすく解説するコーナーを設けます。

関連イベント

1. 記念講演会

講師：中林忠良氏(東京藝術大学名誉教授、銅版画家)
 日時：2014年3月29日(土) 14:00～15:30(13:30開場)
 会場：レクチャーホール(定員240名)
 ※入場無料
 ※当日11:00よりレクチャーホール前で整理券を配布します

2. アーティストトーク

4人の出品作家に自作についてお話いただきます。

- ①湯浅克俊氏：2014年3月22日(土)
- ②吉田亜世美氏：2014年4月19日(土)
- ③風間サチコ氏：2014年5月10日(土)
- ④桐月沙樹氏：2014年5月17日(土)

時間：いずれも14:00～14:30
 会場：企画展示室
 ※参加無料(当日有効の観覧券が必要です)
 ※申込不要

3. 学芸員によるギャラリートーク

日時：2014年3月28日(金)、4月25日(金)、5月23日(金)
 いずれも15:00～15:30
 ※参加無料(当日有効の観覧券が必要です)
 ※申込不要

4. 夜の美術館でアートクルーズ

閉館後に担当学芸員の解説つきで、展覧会をゆったり鑑賞できる人気のプログラム。
 日時：①2014年3月15日(土) ②2014年4月16日(水)
 いずれも19:00～21:00
 対象・定員：18歳以上・各回30名
 参加費：3,000円
 申込方法：本展覧会ホームページ関連イベントの「申込フォーム」
 ※要事前申込、抽選(①は2014年2月14日、②は3月14日、いずれも必着締切)

5. 子どもの日スペシャル

創作&鑑賞ワークショップ「木版画を摺ってみよう！」

版木にインクをのせて紙に摺る——この創作過程に親子でトライ!摺りの体験後は、展覧会場の作品もちょっぴり詳しく見てみましょう。

日時：2014年5月5日(月・祝)
 ①10:30～11:15 ②11:30～12:15 ③13:30～14:15 ④14:30～15:15
 ※①②は10:00より、③④は13:00より、当日会場にてご希望の回を受付けます
 会場：グランドギャラリー
 対象・定員：子どもと保護者・各回とも10組(1組3名まで)、先着順
 ※参加無料(中学生以上は当日有効の観覧券が必要です)

6. 展覧会・ココがみどころ!

横浜美術館のボランティアが、展覧会の魅力をコンパクトに紹介します。
 日時：毎週日曜日、11:00～11:15、14:00～14:15
 会場：グランドギャラリー
 ※参加無料、申込不要

お得な情報

○先行ペア券

一般券2枚セットを1,800円で販売いたします。お1人様2回のこ
 来場にもご利用いただけます。
 販売期間：2013年11月22日(金)～12月31日(火)
 ※横浜美術館ミュージアムショップでは12月28日(土)まで販売

○ポストカードセット券

一般券と出展作品のポストカード1枚のセットを1,000円で販売
 いたします。
 (ポストカードは2種類、どちらが当たるかはお楽しみです)
 販売期間：2013年11月22日(金)～12月28日(土)
 ※横浜美術館ミュージアムショップのみでの販売

○ドリンクセット券

横浜美術館内Café小倉山の450円までのソフトドリンク引換券(本展覧会期中有
 効)付一般券を1,200円で販売します。
 販売期間：2014年1月1日(水)～2月28日(金)
 ※横浜美術館ミュージアムショップでは1月4日(土)から販売

○おやこの鑑賞優待

専用のチラシを持って、小学生以下の子どもと保護者の方が一緒に来場すると、子
 ども1人に対し保護者2人まで一般前売り料金でご鑑賞いただけます。
 (専用チラシは本展覧会ホームページからもダウンロードできます)

○3月29日(土)は観覧無料!

横浜美術館開館25周年と西区制70周年記念「温故知新魅力アップ事業」が連
 携。2014年3月29日(土)はどなたでも展覧会を無料でご鑑賞いただけます。(当日
 は横浜美術館コレクション展も無料でご覧いただけます)

観覧料

一般	1,100 (1,000) 円
大学・高校生	700 (600) 円
中学生	400 (300) 円

※小学生以下無料

※()内は前売ならびに、有料20名様以上の団体料金(要事前予約)
 ※毎週土曜日は、高校生以下無料(要生徒手帳、学生証)
 ※障がい者手帳をお持ちの方と介護の方(1名)は無料
 ※本展覧会チケットでご観覧当日に限り、横浜美術館コレクション展もご覧いただけます
 ※チケットは、横浜美術館(前売はミュージアムショップ)、セブン-イレブン店内のマルチコピー機「セブン
 チケット」(セブンコード:027-017)にてお買い求めいただけます(前売は2014年2月28日[金]まで販売)
 ※その他の割引料金については別途、お問合せください

基本情報

開館25周年記念

魅惑のニッポン木版画

25th Anniversary Exhibition of Yokohama Museum of Art
 Fascinating Japanese Woodcut Prints

2014年3月1日(土) - 5月25日(日)

休館日 木曜日
 開館時間 10:00～18:00(入館は17:30まで)
 会場 横浜美術館(〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-4-1)
 TEL: 045-221-0300 FAX: 045-221-0317 <http://www.yaf.or.jp/yama>

主催：横浜美術館、日本経済新聞社
 後援：横浜市、横浜市教育委員会
 協力：みなとみらい線、横浜ケーブルビジョン、FMヨコハマ、
 首都高速道路株式会社、結工房 田嶋宏行記念美術館

横浜市西区制70周年記念事業

プレスリリースお問合せ 横浜美術館 広報担当(宮野、藤井、窪田) TEL: 045-221-0319 FAX: 045-221-0317 E-mail: pr-yama@yaf.or.jp